【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【公開番号】特開2015-94614(P2015-94614A)
【公開日】平成27年5月18日(2015.5.18)
【年通号数】公開・登録公報2015-033
【出願番号】特願2013-232791(P2013-232791)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｃ　19/5628　(2012.01)
Ｈ０１Ｌ　23/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　41/113　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　41/053　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｃ　19/56　１２８
Ｈ０１Ｌ　23/02　Ｊ
Ｈ０１Ｌ　23/02　Ｃ
Ｈ０１Ｌ　41/113
Ｈ０１Ｌ　41/053

【手続補正書】
【提出日】平成28年10月13日(2016.10.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　第１面と、
　前記第１面と表裏関係の第２面と、
　前記第１面と前記第２面をつなぐ外周面と、
　前記外周面から前記第１面の前記外周面と接する領域よりも内側に向かって前記第１面に設けられている溝部と、
　平面視で、前記第２面の外周縁と重ならない位置に配置されているマークと、を備えていることを特徴とする蓋体。
【請求項２】
　請求項１に記載の蓋体において、
　前記マークは、平面視で、前記溝部と重なる位置に設けられていることを特徴とする蓋体。
【請求項３】
　請求項１または請求項２に記載の蓋体において、
　前記マークは、複数の認識領域を備えていることを特徴とする蓋体。
【請求項４】
　請求項１ないし請求項３のいずれか一項に記載の蓋体において、
　前記マークは、複数設けられていることを特徴とする蓋体。
【請求項５】
　請求項４に記載の蓋体において、
　前記溝部および前記第１面の中央部を通る仮想線の延在方向と交差する方向の前記溝部の幅の中心と、前記第１面の中心と、を通る直線を第１仮想直線とし、

前記マークは、平面視で、前記第１仮想直線により２つに分けられる前記第２面上の一方の領域に配置されている第１マークと、前記第１仮想直線により２つに分けられる前記第２面上の他方の領域に配置されている第２マークを含むことを特徴とする蓋体。
【請求項６】
請求項５に記載の蓋体において、
前記第１マークおよび前記第２マークは、前記第１仮想直線に対して線対称の位置に配置されていることを特徴とする蓋体。
【請求項７】
請求項６に記載の蓋体において、
前記第１マークの中心および前記第２マークの中心を通る直線を第２仮想直線とし、
平面視で、前記第１仮想直線と前記外周面との交点と、前記第２仮想直線と、の間の距離が、前記第１マークの中心と前記第１仮想直線との距離および前記第２マークの中心と前記第１仮想直線との距離よりも短いことを特徴とする蓋体。
【請求項８】
請求項６または請求項７に記載の蓋体において、
前記マークは、さらに前記第１仮想直線上に配置されている第３マークを含むことを特徴とする蓋体。
【請求項９】
請求項１ないし請求項８のいずれか一項に記載の蓋体において、
前記第１面に容器と接合される接合領域を備え、
前記マークは、前記接合領域と平面視で重ならない位置に設けられていることを特徴とする蓋体。
【請求項１０】
請求項１ないし請求項９のいずれか一項に記載の蓋体と、
前記蓋体と接合される接合領域を備えている容器と、を備え、
前記容器の前記接合領域と前記蓋体の前記第１面が向き合うように配置され、接合されていることを特徴とするパッケージ。
【請求項１１】
請求項１０に記載のパッケージにおいて、
前記接合領域は、溶接法を用いて接合され、
前記マークは、前記接合領域と重ならない位置に設けられていることを特徴とするパッケージ。
【請求項１２】
請求項１０または請求項１１に記載のパッケージを備えていることを特徴とする電子機器。
【請求項１３】
請求項１０または請求項１１に記載のパッケージを備えていることを特徴とする移動体。
【請求項１４】
第１面と、前記第１面と表裏関係の第２面と、前記第１面と前記第２面をつなぐ外周面と、前記外周面から前記第１面の前記外周面と接する領域よりも内側に向かって前記第１面に設けられている溝部と、
前記第２面に設けられ、平面視で、前記第２面の外周縁と重ならない位置に配置されているマークと、を備えている蓋体と、
接合領域を備えている容器と、を準備する工程と、
前記蓋体の前記第１面と、前記容器の前記接合領域とが向き合うように配置する工程と、
前記溝部を除く領域において、前記蓋体と前記容器とを接合する工程と、
前記マークを用いて前記溝部の位置を判定する工程と、
前記判定に基づいて、前記溝部を塞ぐ工程と、を含むことを特徴とするパッケージの製

造方法。